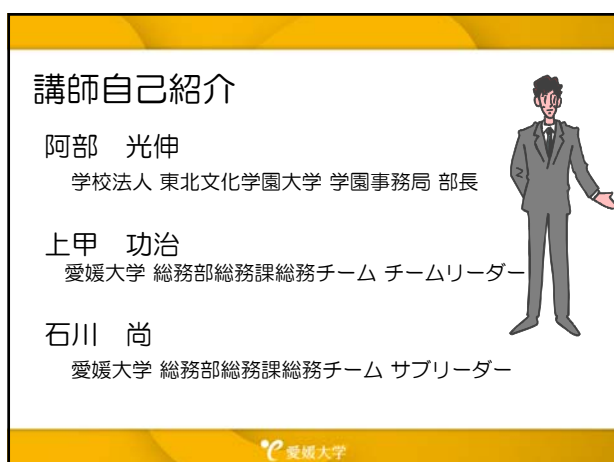
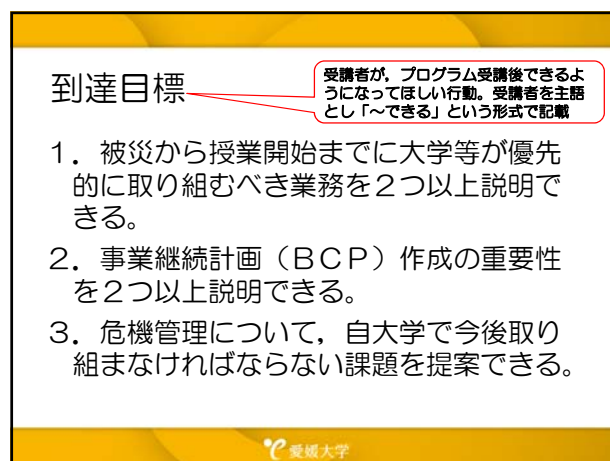
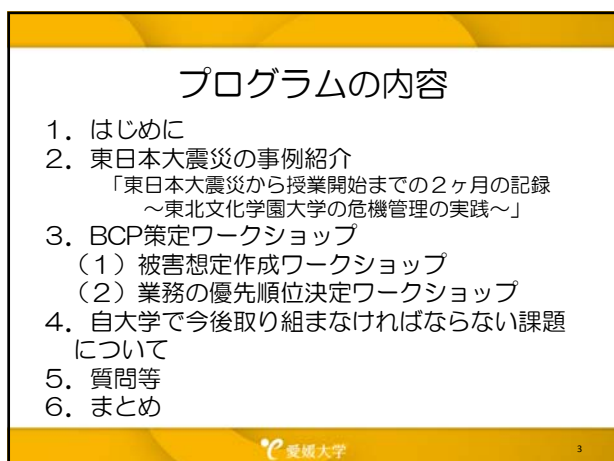
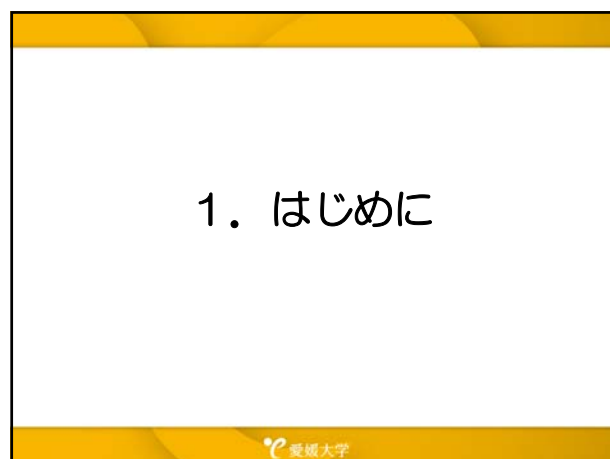
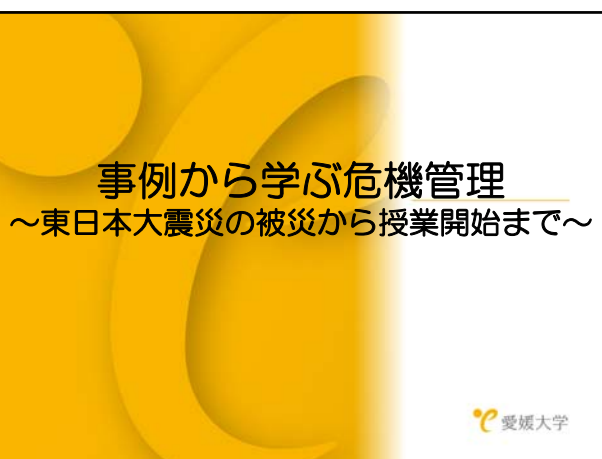




3. BCP策定ワークショップ



BCPの定義①

英国規格協会「事業継続管理のための指針」

H17. 3 経済産業省
「企業における情報セキュリティガバナンスのあり方に関する研究会
報告書」参考資料「事業継続計画策定ガイドライン」より

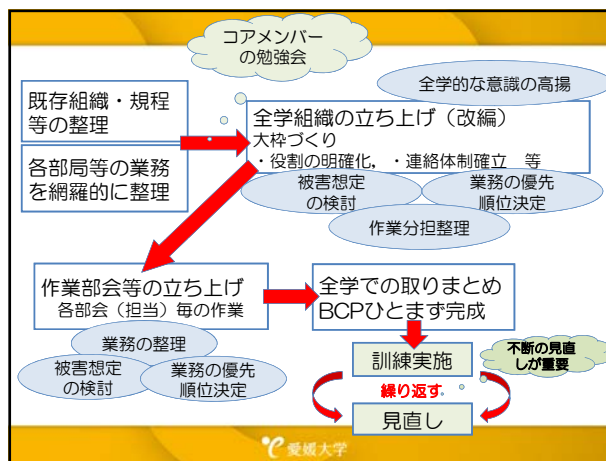
潜在的損失によるインパクトの認識を行い実行可能な継続戦略の策定と実施、事故発生時の事業継続を確実にする継続計画。事故発生時に備えて開発、編成、維持されている手順及び情報を文書化した事業継続の成果物



BCPの定義②

H17. 8 内閣府「事業継続ガイドライン第一版」

災害時に特定された重要業務が中断しないこと、また万一事業活動が中断した場合に目標復旧時間内に重要な機能を再開させ、業務中断中に伴う顧客取引の競合他社への流出、マーケットシェアの低下、企業評価の低下などから企業を守るための経営戦略。バックアップシステムの整備、バックアップオフィスの確保、安否確認の迅速化、要員の確保、生産設備の代替などの対策を実施する。



今回は2種類のワークを行います。

1. 被害想定作成ワークショップ
2. 業務の優先順位決定ワークショップ



1. 被害想定作成ワークショップ

【被害想定条件】

- ・ 8月25日（木）11時にあなたの大学で震度6強の地震（直下型）が発生
 - ・ 夏休みで授業はない（教職員は通常勤務）
 - ・ 教員、院生は研究室にいる
 - ・ 津波の被害はなし
- ※研究、附属病院などの被害は除く



【参考】震度6(長周期地震)の被害(東北文化学園大学)



愛媛大学

【手順】

1. 個人で考え、ふせん紙に書き出す。
(3分)



2. 個人で作成したものを1人1分程度で発表し、グループで共有する。 4分)

愛媛大学

【参考】

○建物の被害

- ・壁面にヒビが入る。
- ・階段、廊下が損壊し、通路が遮断される。
- ・危険建物と診断されるほどの被害を受ける。

○教室・講義室の被害

○研究室の被害

○建築設備の被害

○ライフラインの被害

○人的被害

○その他・共通

愛媛大学

2. 業務の優先順位決定ワークショップ

- (1) 被害想定について
 - (2) 第1ワークの手順について
 - (3) 第1ワーク作業
 - (4) 第2ワークの手順について
 - (5) 第2ワーク作業
 - (6) グループ毎の発表
- ※第1, 第2ワークを一緒に

愛媛大学

(1) 被害想定について

愛媛大学

ワークを円滑に進めるため、以下の被害が発生した想定で、優先的に取り組む業務を考える。

◆8月25日(木)11時に災害発生

※夏休みで授業はない(教職員は通常勤務)

1. 教室が壊れる。
(入口部分が壊れる。教室の壁にヒビが入る。)
2. キャンパス一帯が停電する。
3. 教職員、学生の住居が被災する。

(例)・研究室の化学薬品により有害ガスが漏れ出す。

→ 立ち入りの禁止・周知。散乱物の撤去。
復旧の予測。代替研究の確保。

愛媛大学

(2) 第1ワークの手順について

①個人ワーク (3分)

- ・被害想定をもとに、**授業を再開するため**に、優先的に取り組む業務を**3つ**考え、ふせん紙に記載する。

【優先順位作成の条件】

学生・教職員の安全確保や安否確認などの初動活動は除く。



- ・記載した3つに**優先順位**をつける。

②グループワーク (9分)

- ・個人ワークで作成したものを、1位から順に発表する(1人1分程度)。
- ・グループ内で優先的に取り組む業務を3つに決め、優先順位をつける。
- ・フリップチャートにグループで決定した内容を記載する。

A班	
優先業務	
①	
②	
③	

(4) 第2ワークの手順について

①個人ワーク (3分)

- ・第1ワークでグループで決めた優先順位1位の業務について、事前に取り組むべきことを**3つ**考え、ふせん紙に記載する。



- ・記載した3つに**優先順位**をつける。

②グループワーク (9分)

- ・個人ワークで作成したものを、1位から順に発表する(1人1分程度)。
- ・グループ内で優先的に取り組む業務を3つに決め、優先順位をつける。
- ・フリップチャートにグループで決定した内容を記載する。

A班	
優先業務	
①	
②	
③	
事前に取り組む業務	
①	
②	
③	

(6) グループ毎の発表

【発表方法】

A班では、・・・という理由で、優先順位1位を・・・、(中略)にしました。

また、優先順位1位の業務の中で、事前に取り組むべき業務については、・・・という理由で、優先順位1位を・・・、(中略)にしました。

A班	
優先業務	
①	
②	
③	
事前に取り組む業務	
①	
②	
③	

4. 自大学で今後取り組まなければならない課題について

【到達目標】

3. 危機管理について、自大学で今後取り組まなければならない課題を提案できる。

【手順】

- ①個人で考える1つ以上考える。
- ②上記①をグループ内で共有する
※1人1分で発表×4名、4分



自大学で取り組まなければならないのは、

です。



5. 質疑応答

全体を通して質問はありませんか？



6. まとめ

- ◆できることからやってみよう！
- ◆すべては「学生」のために！



【参考資料】

（内閣府防災担当）

事業継続ガイドライン 第一版

一わが国企業の減災と災害対応の向上のために

事業継続ガイドライン（第一版）解説書

一わが国企業の減災と災害対応の向上のために

事業継続ガイドライン（第二版）

一わが国企業の減災と災害対応の向上のために

（経済産業省）

企業における情報セキュリティガバナンスのあり方に関する研究会 報告書（参考資料）

事業継続計画策定ガイドライン



ご清聴ありがとうございました。

